

循環注水冷却スケジュール (1/2)

分野	格	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		1月		2月		3月		4月	5月	備考
			17	24	31	7	14	21	28	7	14	21	
循環注水冷却	原子炉関連	(実 績) ・【共通】循環注水冷却中(継続) ・【2号】CS系原子炉注水配管点検 ・2号機 FDW系のみによる注水へ切替 2021/1/13~1/22 (予 定) ・【1号】CS系原子炉注水配管点検 ・1号機 FDW系のみによる注水へ切替 2021/3/上旬~3/中旬 ・【3号】CST点検 ・CST点検 2020/10/29~2021/3/下旬 ・【3号】原子炉注水停止試験の実施について ・3号機 CS系のみによる注水へ切替 2021/3/下旬~4/中旬 ・3号機 注水停止期間 2021/4/上旬	現場作業	【1, 2, 3号】循環注水冷却(滞留水の再利用) 【2号】FDW系のみによる注水へ切替 【3号】CST点検 【1号】FDW系のみによる注水へ切替 【3号】CS系のみによる注水へ切替 【3号】注水停止期間	原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要な条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施 実施時期調整中 実施時期調整中 追加 実施時期調整中	略語の意味 CS: 炉心スプレイ CST: 復水貯蔵タンク PCV: 原子炉格納容器 SFP: 使用済燃料プール							
	海水腐食及び塩分除去対策	(実 績) ・CST窒素注入による注水溶存酸素低減(継続) ・ヒドラジン注入中(2013/8/29~)	現場作業	CST窒素注入による注水溶存酸素低減 ヒドラジン注入中									
原子炉格納容器関連	窒素充填	(実 績) ・【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入 - 連続窒素封入へ移行(2013/9/9~)(継続) (予 定)	検討・設計・現場作業	【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 原子炉格納容器 窒素封入中 【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入									
	PCVガス管理	(実 績) ・【1号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 B系: 2021/1/20 ・【1号】PCVガス管理設備排気ファン(A)及び電動機(A, B)点検 ・PCVガス管理設備停止 A系: 2021/1/18 ・PCVガス管理設備停止 B系: 2021/1/18 ・【1号】PCVガス管理システム 希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 B系: 2021/2/17 ・【2号】PCVガス管理設備排気ファン(A)及び電動機(A, B)点検 ・PCVガス管理設備停止 A系: 2021/2/9 ・PCVガス管理設備停止 B系: 2021/2/9 ・【2号】PCVガス管理システム ダストモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/2/12 ・希ガスモニタ停止 B系: 2021/2/15 ・【2号】PCVガス管理システム 希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/2/3, 10 ・【3号】PCVガス管理システム ダストモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/2/8 ・希ガスモニタ停止 B系: 2021/2/16 ・【3号】PCVガス管理システム 希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/2/5, 12 (予 定) ・【1号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 A系: 2021/2/25 ・水素モニタ停止 B系: 2021/3/16 ・【2号】PCVガス管理システム 希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/3/22, 24 ・希ガスモニタ停止 B系: 2021/3/15, 18, 23, 25 ・【2号】PCVガス管理設備フィルター(A, B)交換 ・PCVガス管理設備停止 A系: 2021/3/上旬 ・PCVガス管理設備停止 B系: 2021/3/上旬 ・【3号】PCVガス管理設備排気ファン(A)及び電動機(A, B)点検 ・PCVガス管理設備停止 A系: 2021/3/18 ・PCVガス管理設備停止 B系: 2021/3/18 ・【3号】PCVガス管理システム 希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2021/3/22, 24 ・希ガスモニタ停止 B系: 2021/3/17, 19, 23, 25	現場作業	【1, 2, 3号】継続運転中 【1号】水素モニタB停止 【1号】PCVガス管理設備A系停止 【1号】PCVガス管理設備B系停止 【1号】希ガスモニタB停止 【2号】PCVガス管理設備A系停止 【2号】PCVガス管理設備B系停止 【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止 【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止 【1号】水素モニタA停止 【2号】PCVガス管理設備A系停止 【2号】PCVガス管理設備B系停止 【1号】水素モニタB停止 【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止 【3号】PCVガス管理設備A系停止 【3号】PCVガス管理設備B系停止 【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止	実績反映 最新工程反映 追加 追加 実施時期調整中 最新工程反映								

循環注水冷却スケジュール (2/2)

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		1月			2月			3月			4月	5月	備考		
			17	24	31	7	14	21	28	7	14	21	28	上	中		下	
使用済燃料プール関連		使用済燃料プール循環冷却	(実績) ・【共通】循環冷却中(継続)	【1, 2, 3号】循環冷却中														
			・【1号】FPCポンプ電動機取替(電動機(A)取替)及びポンプ潤滑油交換他 ・SFP一次系停止: 2021/1/12 ~ 2021/2/5	【1号】SFP一次系停止														
		(予定) ・【1号】SFP循環冷却設備維持対策工事 ・SFP一次系停止: 2021/3/4	【1号】SFP一次系停止 最新工程反映															
		使用済燃料プールへの注水冷却	(実績) ・【共通】使用済燃料プールへの非常時注水手段としてコンクリートポンプ車等の現場配備(継続)	【1, 2, 3号】蒸発量に応じて、内部注水を実施														
				【1, 3号】コンクリートポンプ車等の現場配備														
		海水腐食及び塩分除去対策(使用済燃料プール薬注&塩分除去)	(実績) ・【共通】プール水質管理中(継続)	【1, 2, 3, 4号】ヒドラジン等注入による防食														
				【1, 2, 3, 4号】プール水質管理														

# 1号機原子炉压力容器温度計の誤接続について

2021年2月25日

---

東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

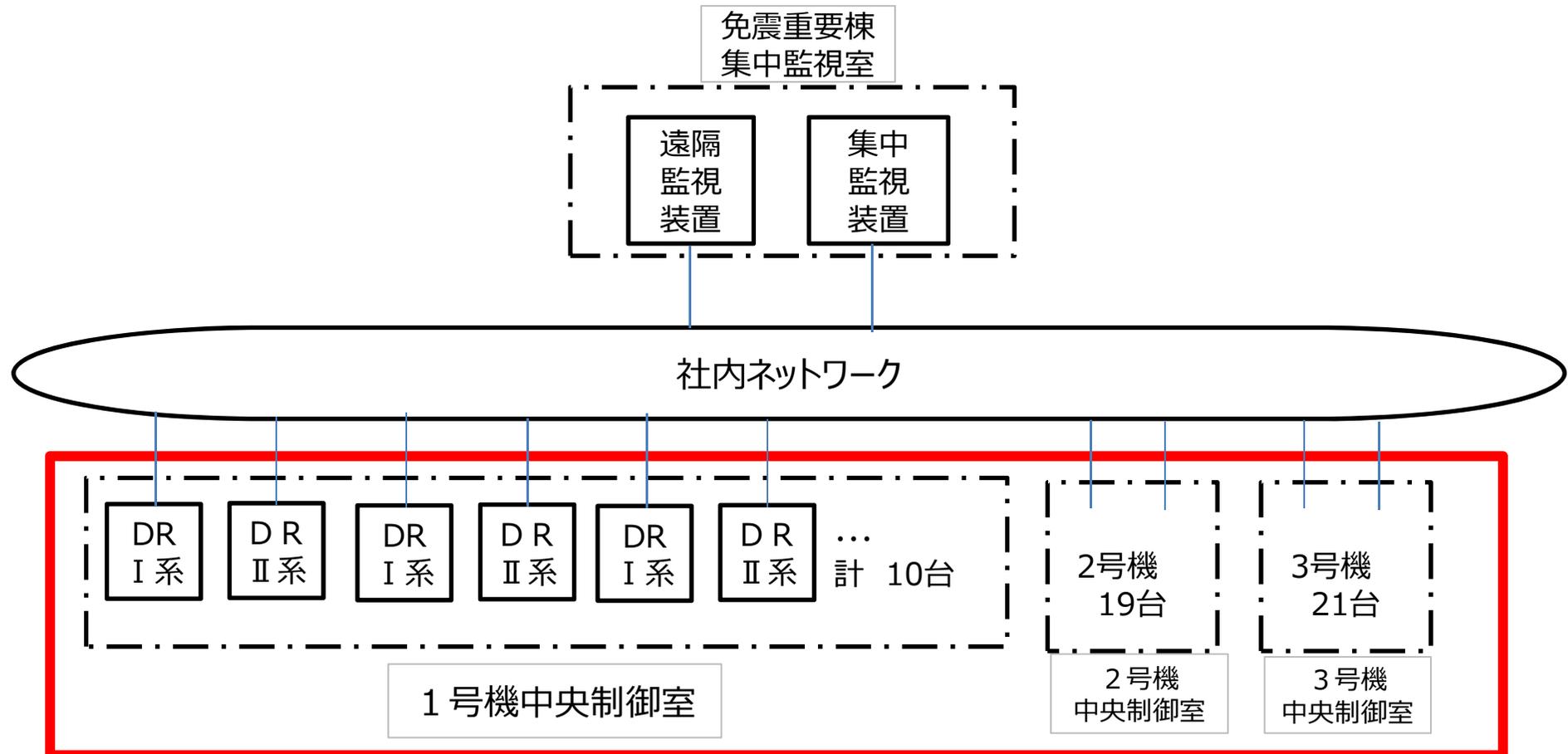
## ■ 概要

1号機デジタルレコーダ取替作業に伴い、2021年2月8日～2月10日に原子炉压力容器温度計（以下、RPV温度計）の切替を行い監視を行っていたところ、RPV温度計のうち「原子炉SKIRT JOINT 上部(15°)」に指示変動があることから、2月12日に現場確認を行った。現場確認の結果、10時30分頃に当該計器配線接続に誤りがあることを発見した。なお、他のRPV温度計5台については、正しく接続されており指示安定していることを確認した。

## ■ 時系列

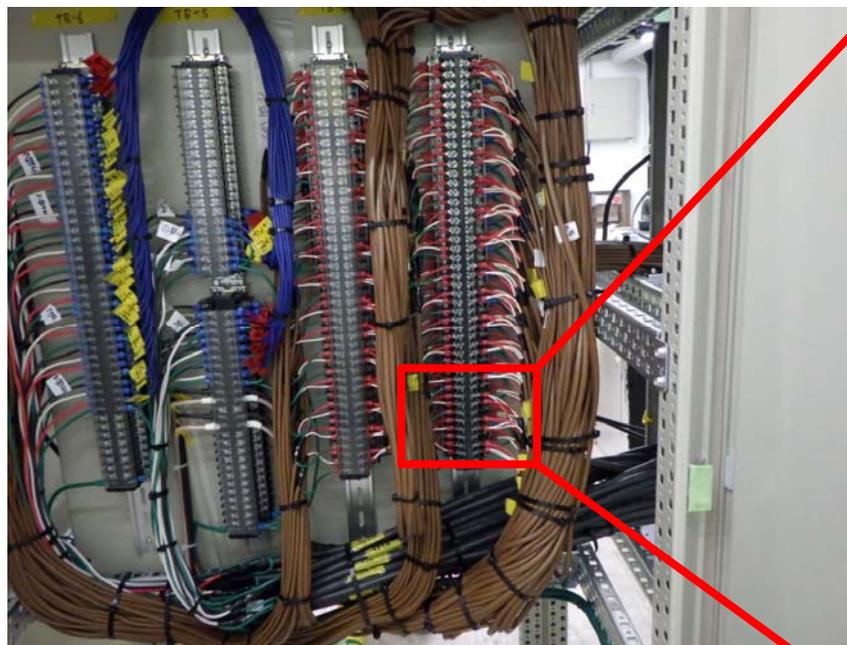
- 2/8～2/10 1号機デジタルレコーダ信号ケーブル接続替え実施
- 2/10
- 16:20～16:50 作業前後の指示値およびトレンド確認を実施。
- 17:00 当直へリリース（監視開始）
- 2/11 他の計器についてデジタルレコーダ取替作業中において、当該計器の指示値が一時的に変動したことを工事監理員が作業後に確認。
- 2/12 10:00～ 当該計器のケーブルおよび端子接続状態の確認を工事監理員が実施したところ、当該計器配線接続に誤りがあることを確認した。
  - 11:20 当該計器のケーブル接続を変更し、指示値復帰を確認
  - 18:00頃 公開データの訂正を依頼

- ✓ デジタルレコーダは、中央制御室に設置されており、RPV・PCV温度計等の信号を免震重要棟に伝送し、遠隔監視を行っている。今回は、赤枠部分の計画取替および端子台・ケーブルの引替作業のなかで発生した。

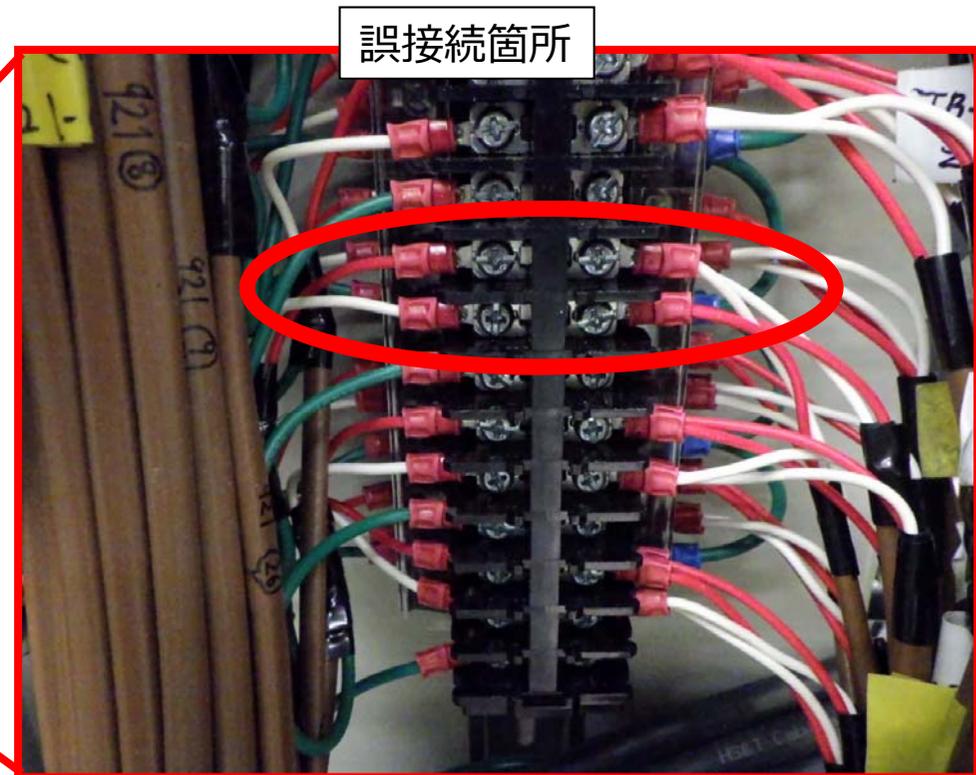


DR：デジタルレコーダ

- ✓ 新設ラック内にデジタルレコーダ、端子台および既設デジタルレコーダ近傍に中継端子台を設置しケーブルを接続した後、既設から新設へ切替えを行った。
- ✓ 新設ラック内の端子台において、当該温度計の接続に誤りがあった。
- ✓ 温度計は熱電対のため、ケーブルは補償導線を使用。



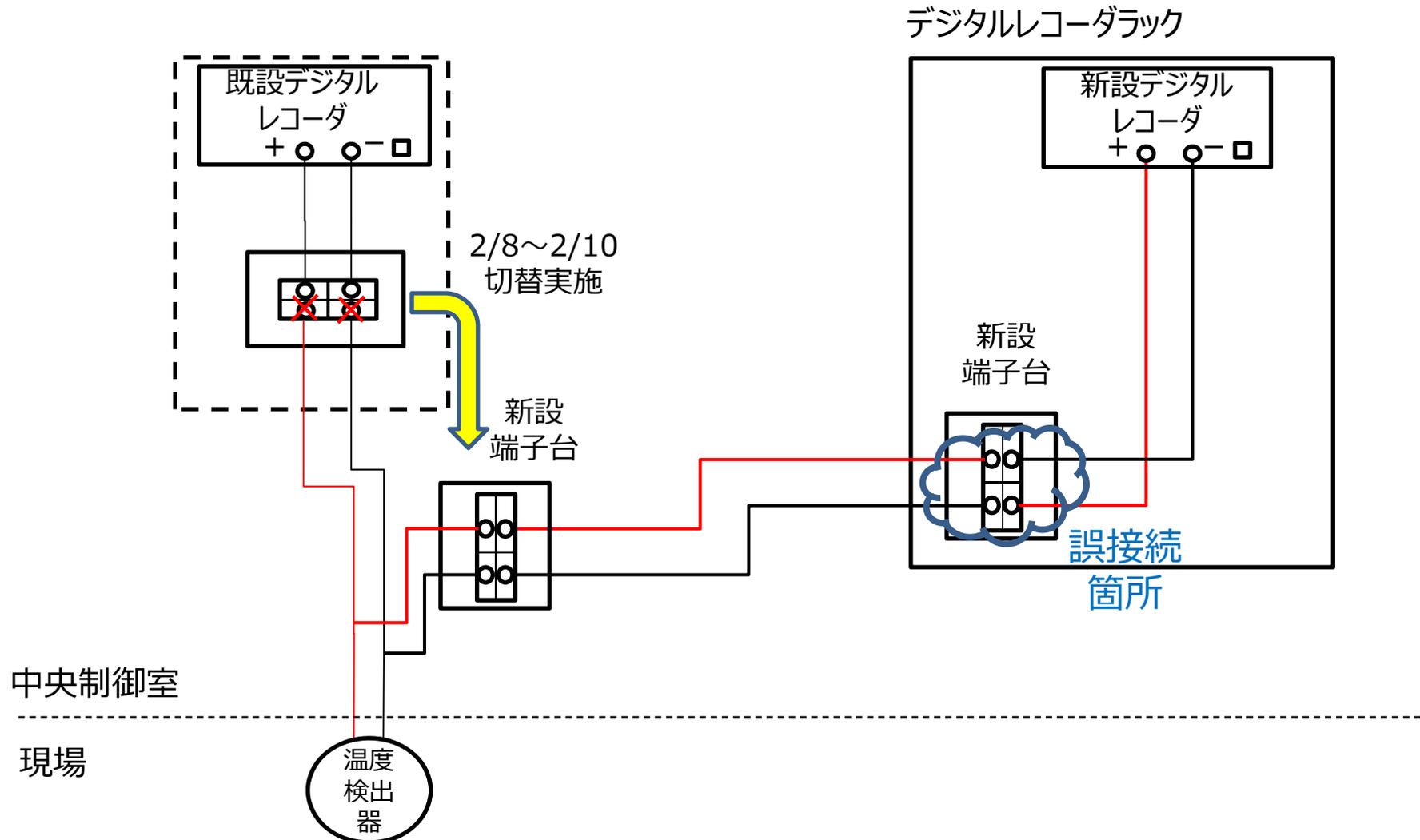
新設デジタルレコーダのラック内



端子台の左右で、アカ・シロが  
入れ替わっている

## 4. ケーブル接続概略図

- ✓ 新設したデジタルレコーダラック内の端子台でケーブルの接続に誤りがあった。



関係者への聞き取り状況は、以下のとおり。

- ✓ 協力企業は、ケーブル接続にあたり、端子台への端子番号の未表示やケーブル1本1本の芯線識別は色（アカ、シロ）で行っており、接続対象のケーブルおよび端子部の識別が分かりづらかった。
- ✓ また、ケーブル接続後にWチェックを行う計画だったが、2/8は作業員と作業班長が別れて作業を行い、当該部分（2/8作業分）のWチェックを行っていなかった。
- ✓ 当社工事監理員は導通試験記録の様式から、線間およびアース間で行うものと考えていたが、アース間の確認が行われておらず、電气的確認で誤接続に気づけなかった。
- ✓ 通常、計器取替後の確認試験では、検出器側から模擬入力を行い指示値に異常の無いことを確認するが、今回は検出器にアクセスできないことから、切替後にトレンド確認を行った。
- ✓ 切替作業前後の指示値および30分程度、切替後のトレンド確認を実施していたが、他の温度計指示値と大きな差が無く、有意な変動が無かったことから、誤接続に気づけなかった。  
※補償導線は、誤った接続をすると誤差を生じるが、検出器～デジタルレコーダ間の温度差が小さい場合は正常に近い値を示す。

関係者への聞き取り結果から、本作業における問題点の抽出した。

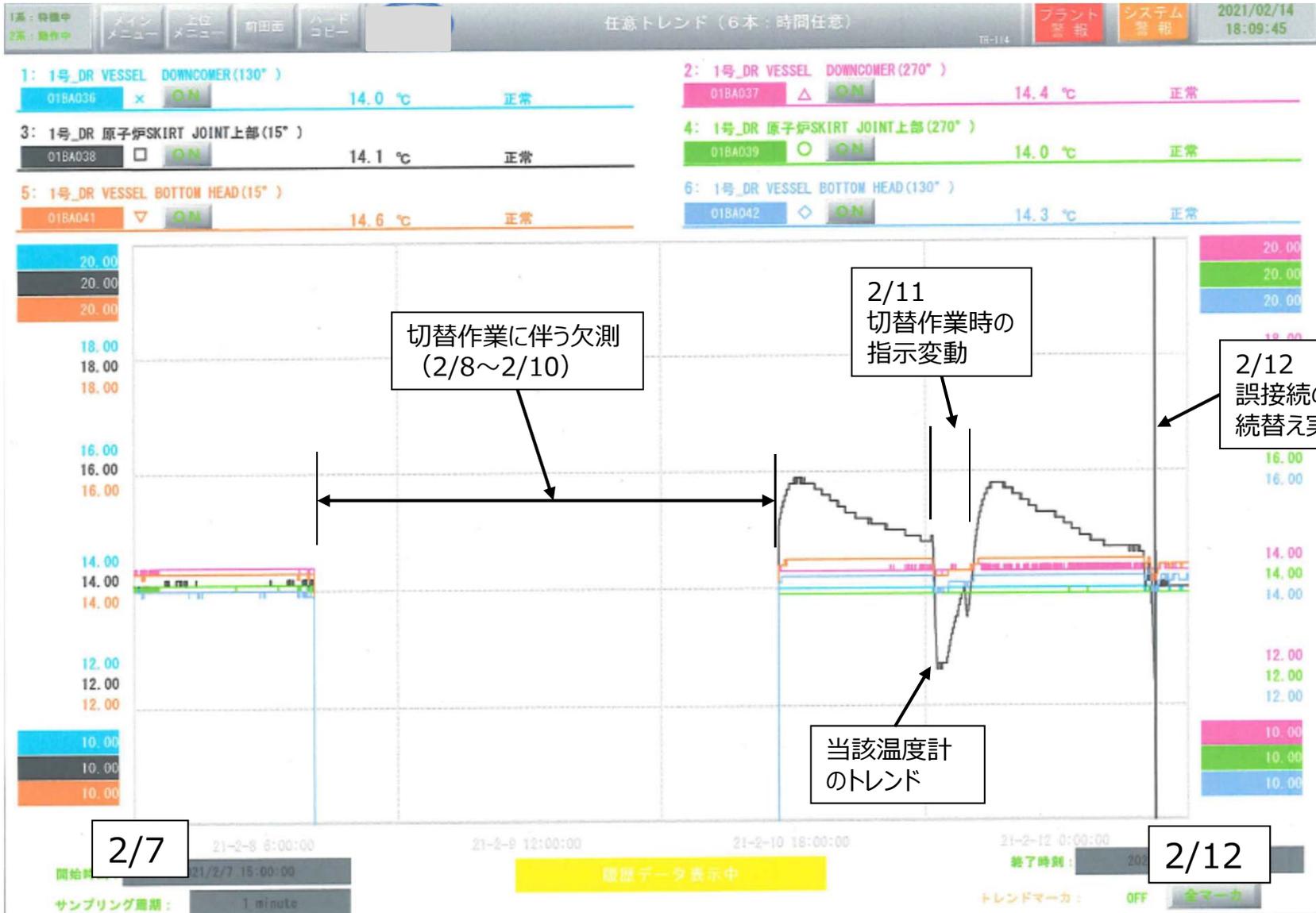
問題点	要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 端子台への端子番号の未表示やケーブル芯線の識別を色で行っていた。</li> <li>✓ 作業員および作業班長は、ケーブル接続後に図面とのWチェックを行う計画だったが、失念した。</li> <li>✓ 導通試験でアース間の確認が行われておらず、電气的確認で誤接続に気づけなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ケーブル芯線1本1本の識別管理が不足していた。</li> <li>✓ 当日に限り作業員と作業班長が別れてケーブル接続を行いWチェックを失念した。また、11時から切替作業を開始する予定であったので、焦りがあった。</li> <li>✓ 元請工事担当者は、ケーブル接続時の導通確認・絶縁抵抗測定に問題の無いことを口頭確認のみで、切替作業へ取りかかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 当社工事監理員は、インサービス時のトレンド確認を行ったが、確認時間が短く指示値に有意な変動が見られず誤接続に気づけなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ インサービス時の指示確認が、ケーブル接続を含めた最終的な健全性確認方法として不十分だった。</li> <li>✓ リリース時の判断基準が明確でなかった。</li> </ul>

引き続き、問題点に対して深掘りを行い、必要な対策を講じる。

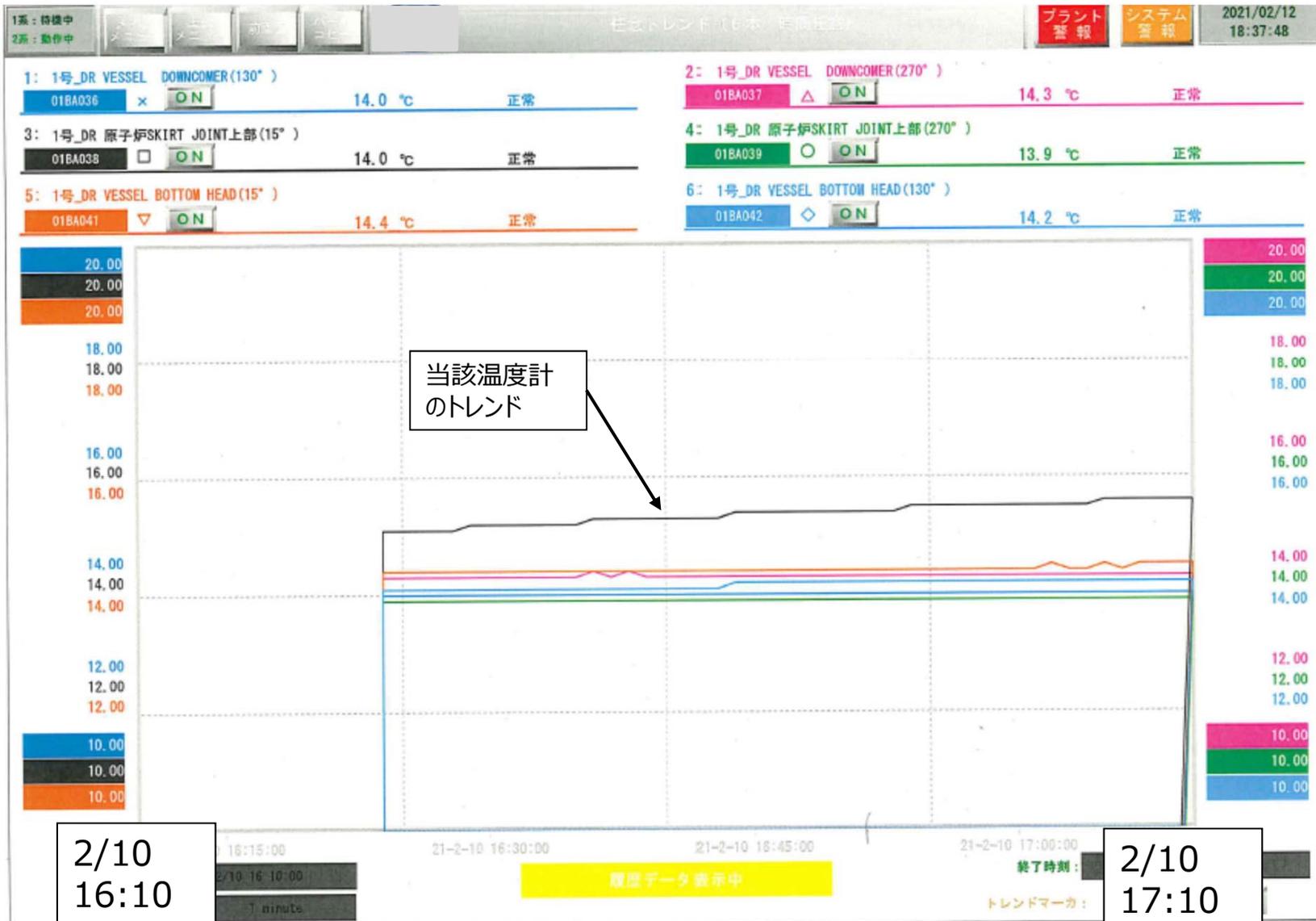
なお、本作業における暫定対策として、ケーブル誤接続の直接的原因対策を以下のとおり行う。

- ✓ ケーブル接続時は、端子台への端子番号の表示およびケーブル1本1本の識別を行うことを施工要領書へ明記し、元請工事担当者はWチェックが行われていることを確認する。
- ✓ 当社工事監理員は、ケーブル接続後のチェック状況や絶縁抵抗測定・導通確認の実施状況を元請工事担当者で確認する。
- ✓ 当社工事監理員は、検出器～デジタルレコーダ間の温度差が小さい場合に正常に近い値を示す状況を踏まえ、ケーブル接続完了後に図面と現物の接続確認を行い、インサービス時のトレンド確認では判断基準を明確化する。

# 【参考】RPV温度計のトレンド



# 【参考】リリース前に確認したトレンド



# 【参考】導通確認チェックシート

1. 判定基準				2. 使用測定器			
絶縁抵抗	5 MΩ以上であること			絶縁抵抗計	DC150V 50MΩ		
導通	導通があること			導通			

3. 試験結果										
No	ケーブルNo	FROM		TO		絶縁抵抗 (MΩ)			導通	
		機器No	端子No	機器No	端子No	C~C	C~E	C~S	C~E	C~C
1	C1006R	PWL 921	TB1下段 1.2, 3	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 31, 32	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 31, 32	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
	C1006S	PWL 921	TB1下段 4.5, 6	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 26, 27	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 26, 27	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
	C1006T	PWL 921	TB1下段 4.8, 7	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 27, 28	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 27, 28	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
	C1006V	PWL 921	TB1下段 10.11, 12	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 40. 41	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 40. 41	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
	C1007A	PWL 921	TB1下段 16.17, 18	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 1. 2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 1. 2	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良
	C1007B	PWL 921	TB1下段 19.20, 21	ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 4. 5	50MΩ	50MΩ	—	—	良
		ケーブル型 CO9-PRO-2	TB3上段 4. 5	ケーブル型 CO9-PRO-2	ケーブル型 CO9-PRO-2	50MΩ	50MΩ	—	—	良

4. 備考			
C : CONDUCTOR (導線)    E : EARTH (アース)    S : SHIELD (シールド)			

C~E : アース間の導通  
C~C : 線間の導通

アース間の導通確認は未実施。  
線間の導通確認では、入れ替わっていても分からない